



©tuperera tuperera

令和8年3月25日

子どもと本の接点をつくる「ブックマルシェ」

令和8年4月から一般受付開始

書店が減少し、公共図書館にもなかなか足を運ぶことができない子どもたちに本との接点をつくるために、図書館のアウトリーチ活動として「ブックマルシェ」を展開します。

これは、「^{めんてんだい}面展台」という段ボール製の本のスタンドに、たくさんの本を表紙が見える状態で並べて広場をつくり、自由に手に取って楽しんでいただくものです。

今年度も市内の幼稚園・保育所、小中学校などを巡回しましたが、より多くの皆さんのもとにサービスを届けられるよう、令和8年度は小俣図書館を拠点に、地域イベントへの出展や、ご希望のある施設等に出張いたします。

多くの市民の皆さまにひと味違う「本のある場」を体験していただければと思います。



【参考】

- ・ 令和7年度中の実績 小学校8校、中学校5校、幼稚園2園、地域2か所
- ・ 面展台は伊勢度会ロータリークラブからの寄贈

- ◆最大規模は面展台（段ボール製の本のスタンド）60台、約500冊
- ◆展開する場所によって設置台数、レイアウトは自在
- ◆パッと見て「手に取りたくなるような表紙」の本を選書
- ◆屋外での開催も可能（天候次第）

お問い合わせ先
教育メディア課 《担当者》増田 《電話》0596-63-5852